

平成25年度第1回花巻市子ども・子育て会議 会議録

日 時 平成25年11月6日（水）午後1時55分から3時35分まで
場 所 花巻市生涯学園都市会館 1階 講座室
出席委員 阿部志郎委員、高橋和矢委員、細矢和男委員、岩館陽美委員、柳原賢一委員、
大峠良子委員、照井義彦委員、菊池ゆかり委員、瀬川和子委員、
佐藤ユキ子委員、藤戸妙子委員、堀澤美保子委員、今野充雅委員、
牛崎恵理子委員、菊池恵美子委員、中村良則委員、鎌田文聰委員、
伊藤隆規委員（18名）
欠席委員 高橋岳志委員
市出席者 大石市長、出茂健康こども部長、こども課久保田課長、小原補佐、村田係長、
小松主査、伊藤主事
（オブザーバー 教育委員会教育部就学養育課小田中課長、藤井補佐）

辞令交付 大石市長より各委員へ辞令書手交

1 開 会 こども課小原課長補佐

2 あいさつ 大石市長

子ども・子育て3法が成立し、法律にのっとり制度を運用することとなり、計画をしっかりとつくっていく必要がある。平成27年度から本格的運用となり、26年度が大事な年度となる。

花巻市の子ども・子育て支援の考え方は、単に保育だけでなく教育を含めた就学前の教育・保育に関わることが大切。保育所、幼稚園の施設だけでなく、在宅の子どもとも連携を取らなければならず、もれなく就学前教育をできるようにしていきたい。

人は健常者のみならず障がい者もいる。人として人をつくるという視点に立ち、国の決まりを土台として、そこから花巻独自の計画ができれば良いと思う。この会議から良い子育て支援の仕組みができていけば幸い。皆様のお力をお貸しいただきたい。

〔市長退席〕

3 委員紹介 出茂健康こども部長より委員を紹介

4 会長及び副会長の選任

事務局一任との発言があり、事務局より会長に中村良則委員、副会長に柳原賢一委員を提案。各委員の承認により決定

〔中村会長あいさつ〕

委員の皆様はそれぞれの専門の立場で日々活動をされている方々ばかりであり、専門的なお話はお任せしたいと思う。子どもは幼稚園、保育園、その他であれ、それぞれ一人一人のお子さん。家庭の中で自分たちの子どもを育てるのが根本だと思う。片方では専門的な立場から高い議論で、もう片方では素人感覚でお話をしていただけると良いと思う。

5 議 事

(1) 子ども・子育て支援新制度について（説明）

（久保田こども課長より資料No.3、No.4について説明）

〔質疑等〕

（中村会長）説明の内容のポイントは2つ。1つはこれからの教育・保育は給付として行うこと。もう1つは、子ども・子育て支援事業計画を地域で作っていくということ。このことを会議で審議する。

（照井委員）施設型給付について、国会では幼稚園関係は必ずしも施設型給付でなくても良く、その際は私学助成を受けられることとなっている。その点も資料に載せたほうが良いのでは。

（久保田課長）私学助成、新制度への移行については、ご意見のとおり幼稚園については、給付への移行、現状の私学助成を継続することの2通りである。資料へは新制度の給付という視点で載せたが、ただし書きで記載するなどの対応をさせていただきたい。

（中村会長）幼稚園は厳密にいうと2種類に分かれるということになるか。

（久保田課長）新制度においては、給付がポイントになる。2本立てが予測される。

（中村会長）給付のほうを事業の対象にすることで良いか。

（久保田課長）新制度は給付を対象としているが、事業量の計画としては、幼稚園を一緒に考えてまいりたい。

（阿部委員）花巻市の保育園、幼稚園の児童数やパーセンテージは把握しているか。

（久保田課長）資料を持ち合わせていないので今数字を申し上げることはできないが、把握している。後ほど資料を送らせていただく。

（中村会長）地域型保育給付に小規模保育等がいくつかあるが、現在花巻で存在しているのはどれか。

（久保田課長）事業所内保育施設や認可外保育施設は7か所。新制度での事業所内保育は、地域の子どもも受け入れる場合が該当する。地域型保育は新しいものであり、類似として事業所内保育所は存在するが、現行の制度では地域型保育給付に該当する事業所はない。

（今野委員）1つは待機児童の解消について、花巻市の実態を教えてほしい。2つ目は在宅のまま小学校に入学する児童がいるか。

（久保田課長）待機児童については、今年の4月1日時点では待機児童はいなかったが、年度途中で低年齢児の待機児童が生じ、11月1日現在で31人（0・1歳児が大半）となっている。保育士不足もある。来年度の入所申込みが始まる場所であるが、調整しながら来年4月には待機児童ゼロを目指したい。2点目については、数は把握していない。

（小田中就学養育課長）把握が難しいものであるが、わかる範囲で調べた結果では、25年度はゼロ、昨年、一昨年は7人と記憶している。調査自体実態がつかめないもので、確定した数値ではない。

（中村会長）在宅で進学する子どもたちは基本的には全くゼロにはならないというこ

とで良いか。

(久保田課長) 把握が困難であることだと考える。

(鎌田委員) 障がいのある子どもあるいは心配な子どもが、保育所や幼稚園に通わないで在宅での子育てをしている数値は把握しているか。

(久保田課長) 障がいの日中一時支援やイーハトーブ養育センターに就学前に通いながら並行通園をしている子どもはいる。幼稚園、保育園に入らずに学齢を迎えるケースもあると思うが、確認させていただきたい。

(鎌田委員) 給付の対象になることもあるか(イーハトーブ養育センター利用者等)。

(久保田課長) 新制度の中では対象にならないが、例えば地域型保育の居宅訪問型保育を利用可能にしていくような事業所を立ち上げる等、そういう部分で支援できる可能性はあるかと思うが、即答はできない。議論が必要と思われる。

(鎌田委員) 市長の「人として」というお話のとおり、障がいがあるなしという二元論ではなく、人間として一元論としていろんな支援を考えていくということが基本にあるので、非常に大事なことだと思う。

(久保田課長) おそらく、地域型保育給付や地域子ども・子育て支援事業の中に反映させることとして、花巻市独自の支援としてできるかと考える。

(中村会長) 色々なケースがあると思うが、包括的な形で子どもの育ちを支援していく体系をつくることだと思う。

(2) 花巻市子ども・子育て支援事業計画の策定に係るニーズ調査について

(村田係長より資料No.5、No.6について説明)

[質疑等]

(中村会長) 事業計画を立てるに当たり実際の現状を数字で定量的に把握し、調査を行うこと。11月下旬から調査を行い、2月に会議を開催するスケジュール。設問項目の中身についてご意見をお伺いする。

(菊池ゆかり委員) 問15⑤の利用していない理由について、国の調査票問23のように選択式にすると回答が楽だと思う。保育園等と違って学童の保育料は一律。経済的な問題で預けることを断念したり、父母の不在の間かぎっ子になっている子がいたり、友達の家にいる子もいる。その数を把握して対策してほしい。

また、国の調査票問23にトワイライトステイとあり、市の調査票にも宿泊を伴う一時預かり等の利用とある。学童クラブに保護者の入院時等の短期の一時預かりの要望があり、こどもセンターと相談を行ったが、その際花巻市には夜間預かる場所がないということだった。この事例に関連してこの設問は、どのように考えているか。

(久保田課長) 1点目については、ご意見のとおり選択肢のほうが良いと思う。自由記載は最後の設問にとどめたい。2点目について、夜間の一時預かりについては、花巻市で清光学園や、盛岡の和光学園や乳児院に委託している。福祉的なイメージはあるが、親の都合で子どもをみるできない理由があれば預けることはできる。今のお話を伺い、そういう施設を利用できることが知られていないことを認識した。設問には説明を添えるなど検討したい。

(中村会長) アンケートを発送する際、現行の花巻市の子育て体系の資料を添えたほ

うがわかりやすいと思う。

(久保田課長) トワイライトステイ等回答者がわからない事業もあると思うので、簡単な資料を添付するなど検討したい。ご意見として承りたい。

(牛崎委員) 配布方法は、保育所、小学校に依頼するとのことだが、イーハトーブ養育センターの利用者で並行通園していない子どもや、清風支援学校に通っている子どもなどにも取りこぼしのないように調査を行ってほしい。

(久保田課長) 対象となる子ども全世帯の調査であり、支援学校にも話しながらもれなく実施したい。

(鎌田委員) 学童保育について、花巻市で特別支援学校に行っている子が地域の学童クラブに行っているケースはあるか。

(久保田課長) 特別支援学校の子どもが、地区の学童クラブに入っているケースはある。たんぼぼクラブや、わこの家学童クラブ等、特別支援学校、特別支援学級の子どもを受け入れているところがあり、その実態も把握したい。

(鎌田委員) 以前学童保育に携わったことがある。地域に特別支援学校等の子どもがいたが、学童に入れなかった時代があった。気軽に入れるようお願いしたい。

(藤戸委員) 調査票の枚数が多いと感じる。子どもが多いと3、4通調査票が届く家庭があると思う。同じことを回答することになり、きょうだいの分は記入済みと書くなど、回答の仕方を工夫すると書く方も楽になると思う。

(村田係長) 住民基本台帳より対象児童を抜き出し、きょうだいのある世帯は一つの調査票で回答できるよう配慮したい。未就学児と就学児のきょうだいはそれぞれ1通の調査票となるが、重複のないように検討したい。

(中村会長) その他意見があれば市役所にお寄せいただければと思う。以上で第1回花巻市子ども・子育て会議議事を終了とする。

6 その他

(小原課長補佐) ご意見の内容をもとにニーズ調査の準備を進めたい。その他皆様からある方はご発言をお願いします。

(阿部委員) 連絡の際のメールアドレスを教えてください。

(小原課長補佐) こども課のメールアドレスをのちほど提示する。

7 閉 会 出茂健康こども部長

貴重なご意見に感謝申し上げます。ご意見のありました子育て状況の資料を用意して送付する。お気付きの点があればお問合せいただきたいと思います。制度や子どもたちの状況を皆さんで共有しながら子ども・子育て支援事業計画を進めていきたい。次回の会議は、ニーズ調査後2月下旬頃に開催したい。以上で平成25年度第1回花巻市子ども・子育て会議の一切を終了する。